

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、大幅に増加している。設備投資は、減少している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

（１）公共投資・・・大幅に増加している

10月の公共工事請負金額は、市町村、県、国の発注が増加したため、前年を上回った。

（図表１）公共工事請負金額

前年比、％

	2024 年 12 月	2025 年 3 月	6 月	2025 年 8 月	9 月	10 月
山形県	▲45.8	62.3	43.2	32.4	25.4	44.5

＜資料＞東日本建設業保証（株）

（注）p は速報値、r は前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

（２）設備投資・・・減少している

9月短観における2025年度の設備投資計画（全産業）をみると、製造業、非製造業ともに減少し、前年度を下回る計画となっている。

この間、9月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業などが減少したものの、医療・福祉、卸売・小売などが増加したため、前年を上回った。

（図表２）県内企業の設備投資額（2025年9月山形短観）

前年度比、％

山形県	2023 年度(実績)	2024 年度(実績)	2025 年度(計画)
全産業	▲4.4	20.3	▲27.0< ▲0.8>
製造業	▲5.5	18.1	▲20.4< ▲1.1>
非製造業	▲2.1	24.5	▲38.9< 0.1>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、％

（図表３）建築着工床面積（民間非居住用）

前年比、％

	2024 年 12 月	2025 年 3 月	6 月	2025 年 7 月	8 月	9 月
山形県	▲39.9	231.2	▲63.8	1.0	▲31.9	54.5

＜資料＞国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している

9月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）、コンビニエンスストア、ドラッグストアは、前年を上回った。ホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売

前年比、%

山形県	2025年 1～3月	4～6月	7～9月	2025年 7月	8月	9月
全店	3.8	3.8	3.7	5.6	3.4	2.0
既存店	3.8	3.8	3.7	5.6	3.4	2.0

＜資料＞経済産業省

10月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を上回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数

前年比、%

山形県	2024年 12月	2025年 3月	6月	2025年 8月	9月	10月
乗用車 合計	▲9.5	19.5	▲0.3	▲15.9	▲7.2	2.5
普通車	▲2.6	0.5	▲9.6	▲12.5	▲6.9	▲10.5
小型車	▲17.5	48.8	21.4	▲24.7	▲14.6	9.7
軽四輪	▲11.3	26.8	▲3.1	▲13.0	▲3.4	10.9

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資・・・弱い動きとなっている

9月の新設住宅着工戸数は、持家と分譲が増加したものの、貸家が減少したため、前年を下回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数

前年比、%

	2024年 12月	2025年 3月	6月	2025年 7月	8月	9月
山形県	18.2	11.2	▲11.5	▲27.8	12.5	▲14.5
持家	28.1	35.3	▲36.6	▲9.6	▲21.4	2.1
貸家	6.5	▲19.2	16.2	▲47.2	58.2	▲41.5
分譲	4.8	34.5	47.8	5.0	4.3	20.6

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・持ち直している

8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別にみると、金属製品、電子部品・デバイスなど12業種は低下したものの、化学、情報通信機械など10業種は上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

（図表7）鉱工業指数

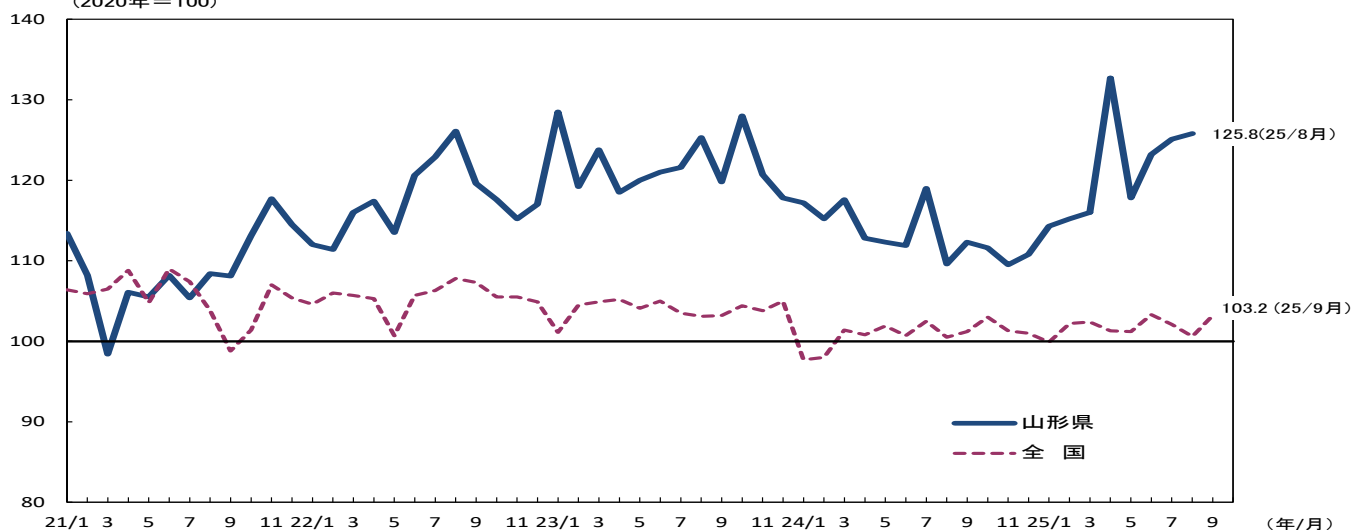
2020年基準

山形県		2024年 9月	12月	2025年 3月	2025年 6月	7月	8月
生 産	季節調整済前月比%	2.5	1.2	0.7	4.6	1.5	p 0.6
	原指数前年比%	▲7.2	▲3.8	▲1.4	12.8	5.1	p 12.0
在 庫	季節調整済前月比%	0.5	▲0.6	▲3.6	▲1.6	9.5	p ▲1.8
	原指数前年比%	0.2	▲7.4	▲12.0	▲3.3	4.8	p 3.6

＜資料＞山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年＝100）



＜資料＞経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

9月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.23倍となった。業種別の新規求人数をみると、サービス、建設などが増加した一方、製造業、卸売・小売などが減少した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2025年 1～3月	4～6月	7～9月	2025年 7月	8月	9月
有効求人倍率	1.35	1.28	1.23	1.29	1.25	1.23
完全失業率	1.8	2.1	n. a.	—	—	—

＜資料＞総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

8月の常用雇用指数は前年を下回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2)

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2024 年 9 月	12 月	2025 年 3 月	2025 年 6 月	7 月	8 月
常用雇用指数	0.1	▲0.7	▲0.6	0.8	▲1.1	▲0.4
所定外労働時間	5.2	12.6	6.3	▲3.9	▲8.6	▲7.3

〈資料〉山形県

8月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2024 年 9 月	12 月	2025 年 3 月	2025 年 6 月	7 月	8 月
現金給与総額 (名目賃金指数)	3.4	9.5	6.7	0.5	4.9	1.3
きまって支給 する給与	4.8	5.3	3.9	4.5	1.3	0.5

〈資料〉山形県

5. 企業倒産 . . . 倒産件数は、前年を幾分上回っている

10月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は 5 件、負債総額は 6.3 億円となった(前年同月は 7 件、33.4 億円)。

(図表 12) 企業倒産

件、億円

山 形 県	2024 年 12 月	2025 年 3 月	6 月	2025 年 8 月	9 月	10 月
件 数	11	9	5	4	6	5
負債総額	31.6	14.6	5.0	11.9	2.6	6.3

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価 . . . 前年を上回った

9月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2020 年基準、前年比、%

山 形 市	2024 年 12 月	2025 年 3 月	6 月	2025 年 7 月	8 月	9 月
総 合	4.0	3.7	3.1	2.9	2.6	2.2
生鮮食品を除く総合	3.4	3.2	2.7	2.8	2.4	2.3

〈資料〉山形県

7. 金融

9月の県内預金(銀行+信用金庫)は、概ね前年並みで推移している。県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。この間、貸出金利は、緩やかに上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山 形 県	2024 年 12 月	2025 年 3 月	6 月	2025 年 7 月	8 月	9 月
実質預金+CD (末残前年比)	0.3	▲0.8	▲0.5	▲0.2	0.0	▲0.3
貸出金 (末残前年比)	4.1	2.6	2.2	2.3	2.5	2.4

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山 形 県	2024 年 10～12 月	2025 年 1～3 月	4～6 月	2025 年 6 月	7 月	8 月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.074	0.066	0.084	0.063	0.005	0.002

8月末水準
1.136%

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL : 023-622-4004